



た

世界史 B 問題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は 17 ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まれない。
2. これは世界史 B の問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうかを確認のうえ、解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
5. 解答は、すべて解答用紙の解答欄に記入、またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は、一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は、持ちかえらず、必ず提出すること。
11. この問題用紙は、必ず持ちかえること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読み、空欄(ア～ウ)に当てはまる語句を入れ、下線部(1～7)に関する設問(1～7)に答えなさい。

ギリシア神話に登場する神々、とりわけオリンポス 12 神⁽¹⁾のイメージは古代のみならず、後世においても西欧人の心性を支配してきた。それぞれの神はその職能を象徴するような姿形で表わされ、そのイメージは象徴化され、様々な象徴を組み合わせることで極めて政治的な意味をも帯びてくるようになる。

例えば、神々と人間の最高支配者である主神ゼウスは、鷲、雷電、王笏をもって表わされることが多い。好色な神であったため、妻ヘラの目を盗み浮気を繰り返しては強力な神々や半神を生み出していった。このゼウスの図像は近世になると絶対君主の権威を象徴するものとなる。神聖ローマ皇帝カール 5 世⁽²⁾は自分をゼウスに重ね合わせていたとされる。「ローマの劫略」が起こるなどイタリアの情勢が変わっていく中、カール 5 世の恩恵をえることで自分たちの領土や権威を保とうと、イタリアの小都市国家の数々は自らの宮殿内にゼウスに処罰される巨人たちを描かせている。

ゼウスの息子であるアポロンは、竖琴をもち月桂冠を載せて表わされることが多い。理性を象徴し、月桂冠が学芸に優れた者に授けられることもある。ルネサンスを代表する芸術家ラファエロはフレスコ画「パルナソスの山」⁽³⁾に、楽器を奏でるアポロンと彼に付き添うミューズたち、そして複数の詩人を描いている。フランスではルイ 14 世が「」と呼ばれたことが知られているが、すでにヴァロワ朝のシャルル 9 世やブルボン朝を開いた⁽⁴⁾もアポロンとして表されていた。おそらくゼウスにたとえられていたハプスブルク家の君主たちに対抗する意図があったのであろう。⁽⁵⁾

ゼウスとメティスの娘であるアテナは、メティスを飲み干したゼウスの頭から生まれた女神で、学芸、戦争、紡織を司り、父ゼウス、すなわちギリシア民族の父系制秩序に奉仕する処女神である。紀元前 5 世紀にによって製作された「アテナ女神像」は崇高さを特徴とする均整のとれた作品である。兜をかぶり、ふくろうを伴いメドゥーサの頭がはめ込まれた盾と槍を持った姿で表わされる。ルネサンスには、女性の理想の象徴とされたり、フィレンツェのメディチ家

の紋章がアテナの衣装に施される絵画が描かれたりした。16世紀になると軍神マルスとともにアテナは神聖ローマ帝国の守護神としても描かれるようになる。

ゼウスの子であるヘラクレスは、12の功業と呼ばれる「怪物退治」で知られている。弓矢、鎌、棍棒、獅子の毛皮をもって表されることが多い半神のヘラクレスは男性性を象徴し、王権と結びつきのある表象が成立していく。マケドニアのアレクサンドロス大王や、ローマの皇帝コンモドゥス、16世紀にはフィレンツェのコジモ1世がヘラクレスの彫刻をつくらせ、⁽⁶⁾17世紀にはスペインのフェリペ4世が画家スルバランにヘラクレスの功業の連作を描かせ、自分の権威を誇示した。だが、このように王権の威圧的な表象だったヘラクレスはフランス革命期になると、フランス人民や⁽⁷⁾ジャコバン派の象徴として、つまり民衆のそれとして描かれるようになるのだった。

設問 1 下線部(1)のオリンポス 12 神に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. ヘロドトスの『神統記』には、ゼウスが他の神々と戦い勝利者となるまでが描かれている。
- B. 軍神マルスのために開催されたオリンピアの祭典は女人禁制であった。
- C. ヘラはトロイアの神官ラオコーンを大蛇に殺せたと『イリアス』に記されている。
- D. デルフォイのアポロン神殿では、巫女を通じて神アポロンの神託が告げられた。

設問 2 下線部(2)の神聖ローマ皇帝カール5世の時代に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. イタリアの覇権を巡ってフランスとの間に起きたイタリア戦争は彼の時代に終結した。
- B. カール5世は、フランス王アンリ2世を選挙で破って神聖ローマ皇帝として即位した。
- C. アウクスブルクの和議でルター派、カルヴァン派が公認となった。
- D. 新教派の諸侯と帝国都市はカール5世の弾圧に対して同盟を結んだものの、のちにシュマルカルデン戦争で同盟は解体させられた。

設問 3 下線部(3)のフレスコ画「パルナソスの山」に描かれている複数の詩人の一部は次の①～④の通りである。それぞれの活躍時期を年代順に示した場合、正しい順になっているものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- | | |
|------------|------------|
| ①ウエルギリウス | ②サッフォー |
| ③ダンテ | ④ペトラルカ |
| A. ①→②→③→④ | B. ②→①→④→③ |
| C. ②→①→③→④ | D. ③→①→②→④ |

設問 4 下線部(4)のルイ14世の時代に起こった出来事をひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. アルマダ海戦
- B. オーストリア継承戦争
- C. フランス学士院設立
- D. オランダ戦争

設問 5 下線部(5)のブルボン朝に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. ルイ 14 世はリシュリユーを宰相に任用し、貴族の力を削ぎ、新教徒を弾圧し絶対王政を確立した。
- B. ルイ 15 世は七年戦争期にイギリスと植民地支配の覇権を巡って戦い、多くの海外植民地を獲得した。
- C. ルイ 16 世治世下では、アメリカ独立戦争参戦や宮廷の浪費によってフランスの財政は危機に瀕した。
- D. ルイ 18 世は 1814 年の「憲章」を制定し、反動政治を強化したため、七月革命で王位を追われた。

設問 6 下線部(6)の 17 世紀にヨーロッパ各国で活躍した文化人に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. フランス古典主義を代表する悲劇作家ラシーヌは『人間嫌い』を著した。
- B. デカルトは『方法叙説』を著し、合理論をうちたてた。
- C. ミルトンは『新約聖書』を題材に長編の叙事詩『失樂園』を遺した。
- D. フランドル派の画家ルーベンスは明暗画法を取り入れ、名画「夜警」を描いた。

設問 7 下線部(7)のジャコバン修道院で結成されたジャコバン＝クラブに関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 結成当初は過激なグループが中心であったが、のちに立憲君主制を主張するジロンド派が離脱した。
- B. 商工業ブルジョアジーを中心に結成されたフイヤン派内閣は、国王ルイ 16 世にオーストリアに宣戦布告させた。
- C. 急進的な山岳派が国民公会で主導権を握り、1793 年憲法が制定されたが、人民投票で否決された。
- D. ダントンは恐怖政治の強化に反対したため、ロベスピエールと対立し処刑された。

〔Ⅱ〕 「アフリカの角」とよばれる地域とアラビア半島とが 30 km 程度の距離に迫る
バーク・アル＝マンデブ海峡周辺は、インド洋からアデン湾・紅海を経て地中海
に抜ける歴史的な交通の要衝であり、現代では内戦・紛争の地、海賊の跋扈する
海域となっている。この地域の歴史について述べた次の文章を読み、地図も参照
しながら、設問(1～10)に答えなさい。

バーク・アル＝マンデブ海峡の西に位置するエチオピア高原は気候が温暖で古
くから都市が栄え、またアラビア半島の南西部(現在のイエメン)も「幸福のアラ
ビア」とよばれギリシア・ローマの人々の憧れるところであった。伝説によれ
ば、この地の「シバの女王」はイエリサレムのソロモン王の噂を伝え聞いて多くの
宝物を携えて彼を訪ね、ソロモンは彼女の謎解きの挑戦に見事に答えたときさ
れる。アが1974年に退位するまで三千年にわたって続いたとされるエチ
オピア皇帝の家系は、このシバの女王とソロモンの間の子であるメネリク1世を
始祖とするという。

エチオピア高原の北側から紅海にかけての地域において、紀元前後から9世紀
ごろまでの長きにわたって繁栄を誇った王国の中心地はアクスムだった。アレク
サンドリアを拠点として紅海からインド・東南アジアに到る季節風貿易の様子
は、1世紀頃にギリシア語で記された『エリュトゥラー海航海案内』で知ることが
できる。紀元前2～1世紀のアラビア半島側にはプリニウスの著書でも言及され
ているヒムヤル王国が成立し、アクスム王国と勢力争いを繰り広げた。ヒムヤル
王国の支配地にはソロモン王以来とされるイが浸透していたが、アクス
ム王国には4世紀にウが伝わって王が改宗し、以来エチオピアでは
ウの信徒が多数派である。523年ヒムヤル王ズー・ヌワースがウ
の信徒を迫害したことを契機に、ビザンツ皇帝ユスティニアヌス1世やアレクサ
ンドリア総主教の援助を得たアクスム王の攻撃によって、ヒムヤル王国は滅亡し
た。とはいえ、アラビア半島と紅海・エチオピアの勢力争いは続き、7世紀にイ
スラームの教えを説き始めたムハンマドは、アラビア半島のメッカにエチオピア
からの象部隊が襲って来た年(570年頃)に生まれたと伝えられている。迫害を受
けたムハンマドの弟子たちがエチオピアに逃げたり、エチオピア出身の信徒が最

初の礼拝の呼びかけ人に指名されるなど、この教えの初期の歴史には、海峡の両側の交流の様子が強く刻印されている。

ヨーロッパの大航海の時代を経て、パーブ・アル＝マンデブ海峡の周囲の領有をめぐる列強の競争は熾烈なものとなった。オランダとインド洋の覇権を競った

エ 東インド会社はモカに商館を設け、ナポレオンのエジプト遠征後、この地への影響力を決定的なものにしようと試みる。そして1839年にはアデンを占領、周辺の島々や後背地も順次手に入れていった。それに対抗して **オ**

は、紅海に突き出た半島を1868年に買い取り交易の拠点とした。1870年にスエズ運河が開通すると、紅海沿いに拠点を構えようという列強の熱はさらに高まった。

エ と **オ** は、1898年にファシヨダで衝突するが、両者は国内事情や国際的な情勢から、1904年アフリカの権益を分け合い協力関係⁽⁵⁾に転じることに合意した。他方、1885年に紅海沿いのマッサワ港を占領した **カ**

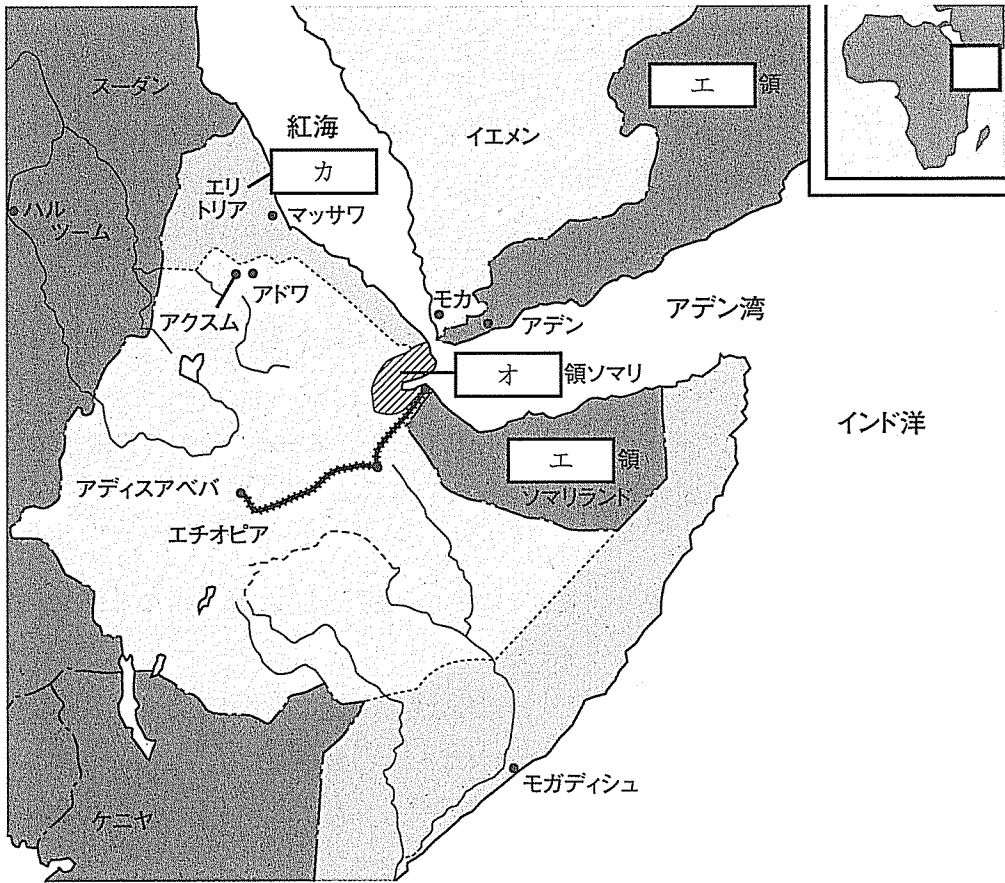
は、そこにエリトリア植民地を築き、1889年のウッチャリ条約でエリトリア領有をエチオピアに認めさせ、メネリク2世の保護を約した。しかし鉄道利権と引き換えに **オ** からの援助を得られると考えたメネリク2世はウッチャリ条約を破棄すると宣言して **カ** との戦闘状態に入り、1896年アドワの戦いで勝利した。

この勝利によってエチオピアはアフリカで数少ない黒人の王による独立国として残り、1930年にエチオピア皇帝となった **ア** (称号ラス・タファリ)は、南北アメリカ大陸の黒人たちにとってアフリカ帰還のための救世主と崇められるようになった。

さらにこのエチオピア戦争の間に **オ** は、アデン湾に面するジブチ周辺を **オ** 領ソマリとして植民地化する。

エ はスーダンのマフディー運動には手を焼いたものの、1889年にはスーダンをエジプトとの共同統治とし、アデン植民地から対岸のソマリランドに進駐して諸部族を保護し、 **エ** 領とする。

次の地図は、**エ**、**オ**、**カ** の勢力分布を示すものである。



設問 1 空欄 に入る人名を解答欄に書きなさい。

設問 2 下線部(1)のソロモン王に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. イスラエルびとの羊飼いの少年だったが、ペレシテびとのゴリアテを石礫で倒したことで英雄となり、イスラエル王国の王となった。
- B. イスラエル王国の統治機構を整備し、首都エルサレムに壮麗な神殿を築いた。
- C. 新バビロニアのネブカドネザル2世の攻撃を受けて敗北し、その民はバビロンに連れて行かれた。
- D. 彼の記した黙示録は、20世紀になってからヨルダン川西岸地区で発見され、「死海文書」とよばれる。

設問 3 下線部(2)のアレクサンドリアに関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. アレクサンドロス大王の後継者セレウコス3世は、ギリシアから学者たちを迎えてこの地に王立研究所(ムセイオン)を設立した。
- B. 紀元前1世紀にこの地に生まれたクレオパトラは、シリア属州総督のポンペイウスに捕縛されたが、誇り高き女王として自殺した。
- C. この地の図書館はヘレニズム世界の学術の中心であり、ヘブライ語からギリシア語に翻訳された聖書も収められていた。
- D. 3世紀にアレクサンドリア主教を務めたアリウスが説いた三位一体説が、後にニカイア信条に採択されてローマ教会の教義となった。

設問 4 下線部(3)のプリニウスの著書名を解答欄に書きなさい。

設問 5 次の国名・王朝名から、下線部(4)のユスティニアヌス1世が滅ぼしたものをひとつ選び、解答欄にその記号をマークしなさい。

- A. ヴァンダル王国
- B. ササン朝ペルシア
- C. 西ゴート王国
- D. ランゴバルド王国

設問 6 , に入る宗教名を解答欄に書きなさい。

設問 7 , , に入る国名の組み合わせとして正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. : イギリス, : ドイツ, : イタリア
B. : フランス, : イタリア, : ドイツ
C. : イギリス, : フランス, : イタリア
D. : フランス, : イギリス, : ドイツ

設問 8 下線部(5)について、この時期 を混乱させていた問題を次の選択肢からひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 社会主義者鎮圧法の廃止 B. 第2次モロッコ事件
C. ドレフュス事件 D. 南アフリカ戦争

設問 9 下線部(6)のマフディー運動に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 綿花栽培の強制労働を課せられた現地民は、弾丸を液体に変える秘薬とされるものを近隣の部族民たちに配りながら反乱を拡大させた。
B. マフディーたちの反乱を鎮圧しようとしてハルツームで戦死したゴードンは、太平天国の乱の平定に貢献した軍人であった。
C. 西スーダンで頭角を現したサモリは帝国を築き、その焦土作戦で植民地勢力を悩ませた。
D. キリスト教布教に危機感を持ったサイイド・ムハンマド・アブドゥッラー・ハサンは反植民地闘争を繰り広げ、「狂気のマフディー」とよばれた。

設問10 20世紀のエチオピアとソマリアに関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. エチオピアで勃発した内戦をおさめるために1992年国際連合から派遣されたPKOは、事態を沈静化できなかった。
- B. 1963年エチオピアの首都アディスアベバに集結したアフリカ独立諸国の首脳は、アフリカ統一機構の設立に合意した。
- C. ソマリアはエリトリアと1952年に連邦制国家を樹立したが、独立を求めるエリトリア戦線との紛争が起きた。
- D. スペインのフランコは1935年ソマリアを攻略し、東アフリカ帝国として支配しようとして国際連盟の経済制裁を受けた。

〔Ⅲ〕 多くの国の成り立ちがそうであるように、イギリス(大ブリテン=北アイルランド連合王国)の歴史は複雑である。829年のイングランド統一(アングロ=サクソン王国)に始まり、その後、ウェールズ、スコットランド、アイルランドが併合され、現在の国の原型が形づくられた。中でも、もっとも苦難の歴史を余儀なくされたアイルランド(島)は、南北に分断され、北部(北アイルランド)はイギリス領として現在もイギリス政府の統治下におかれている。

アイルランドに関する次の【ア】～【キ】の文章を読み、以下の設問(1～8)に答えなさい。なお、以下では「イギリス」という国名は、大ブリテン王国が成立する1707年まで、イングランドの意味でもちいる。

【ア】 スカンディナヴィア半島やユトランド半島を居住地とするノルマン人は、商業・植民(移住)・略奪・征服を目的としてヨーロッパ各地に海上遠征を行った。ヴァイキングと称された彼らは、ノール人(ノルウェー)、⁽¹⁾デーン人(デンマーク)、スウェード人(スウェーデン)の3部族からなり、中でもノール人の活動は主にアイルランドを中心とするブリテン諸島にむけられた。

【イ】 名誉革命でフランスに亡命し、失権回復をめざすジェームズ2世のアイルランド軍とウィリアム3世率いるイギリス軍が戦い(ボイン川の戦い)、敗北したジェームズ2世は再びフランスに逃れた。イングランド本土の「無血革命(名誉革命)」の余波を受けたアイルランドは流血の舞台となった。

【ウ】 イギリスからの独立をめざすユナイテッド・アイリッシュメンの蜂起やナポレオンの動きに危機感を強めたイギリス政府はアイルランド併合を加速させる。その結果、アイルランドは正式にイギリスに併合され、大ブリテン=⁽³⁾アイルランド連合王国が成立した。

【エ】 エリザベス1世の治世に、イギリス国王の権威のもとアイルランドのイギリス化政策が推し進められた。⁽⁴⁾

【オ】 プランタジネット朝初代の王ヘンリ 2 世がアイルランド征服に乗り出し、
(5) アイルランドの宗主権を握った。

【カ】 クromウェルのアイルランド征服により、大規模な土地の収奪と植民が行
(6) われた結果、大部分の土地がイギリス人不在地主によって所有され、アイル
ランド人が貧しい農業労働者として搾取される体制が確立した。

【キ】 アイルランドは、北部のアルスター地域の 6 県を除いてアイルランド自由
(7) 国として自治領となった。その後、アイルランドの独立派は、独自の憲法を
定め、国名をエールとした。公式にイギリス連邦を離脱し、アイルランド
(共和国)となったのは第二次世界大戦後であった。

設問 1 下線部(1)のヴァイキングに関する次の 4 つの記述のうち、3 つは正しく、1 つは誤った語句を含んでいる。その誤った語句と、それを書き直した正しい語句をそれぞれ解答欄に記入しなさい。

- ・カール大帝によりゲルマン人大移動以来の混乱に終止符が打たれた西ヨーロッパを再び動揺の渦に巻き込んだのが第 2 次民族大移動である。その中心をなしたのがマジヤール人とヴァイキングであった。
- ・ヴァイキングの一派は、南イタリアとシチリア島に侵入し、両シチリア王国を建国した。
- ・デーン人は、ノール人出身のロロを首領にたびたび西フランクを脅かし、シャルル 3 世からその地の領有を認められた。これがプロイセン公国である。
- ・スウェード人は、ロシアの起源をなすノヴゴロドやキエフの国家形成にかかわった。

設問 2 下線部(2)の名誉革命の際に、議会で可決された宣言をもとに作成・発布され、また議会の王権に対する優越を明確にした議会制定法の名称を解答欄に記入しなさい。

設問 3 下線部(3)の大ブリテン=アイルランド連合王国の時期にアイルランド(人)がおかれた状況に関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 公職にはプロテスタントしかつけないとする審査法が実質的な信仰の自由を奪うことになった。
- B. ジャガイモ飢饉が発生し、その後わずか数年間で 100 万人以上の人が移民としてラテンアメリカ諸国にわたった。
- C. アイルランド独立運動の指導者であるオコンネルは、合法的に政府に圧力をかけ、カトリック教徒解放法成立に貢献した。
- D. イギリス自由党のグラッドストーンは、帝国主義的領土拡大を主張し、アイルランドの植民地支配を強化した。

設問 4 下線部(4)のエリザベス 1 世の治世において、イギリス独自の国教会体制が最終的に確立した。イギリス国教会の成立に関する次の文章のうち、正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. ヘンリ 8 世はカトリックの信仰に忠実であったが、離婚を承認しないローマ教皇と対立し、カトリック世界から離脱した。
- B. 教義面での改革が進んだのはエドワード 6 世の治世であった。ルター主義に近い教義がとりいれられ、カトリック的要素は一掃された。
- C. メアリ 1 世は、フランス王室と結んでカトリックを復活しようとしてわだてた。反カトリックの「異端」に対する厳しい弾圧により「血のメアリ」と呼ばれた。
- D. 国王至上法(首長法)を發布し、国王がイギリス国教会の唯一最高の首長であると宣言したのがエリザベス 1 世であった。

設問 5 下線部(5)のプランタジネット朝に関して、この時代の出来事として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 大憲章(マグナ=カルタ)の発布
- B. コペルニクスによる地動説の提唱
- C. コンスタンツ公会議の開催
- D. カノッサの屈辱(カノッサ事件)

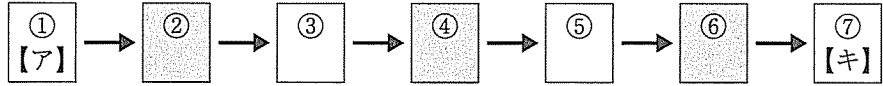
設問 6 下線部(6)のクロムウェルに関する説明として正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. アイルランドを議会派の拠点とみなし、征服活動に乗り出した。
- B. チャールズ 2 世のスコットランド上陸を受け、スコットランドを征服した。
- C. 最高官職である護国卿に就任した後、議会の要請を受けて王位に就いた。
- D. 中継貿易で繁栄するオランダに対抗して、イギリス貿易の保護・促進を目的とする航海法を制定した。

設問 7 下線部(7)のアイルランド自由国の成立から第二次世界大戦開始までの間に起こった世界の出来事に合致しないものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. ローラット法の発布
- B. 第 1 次国共合作の成立
- C. 関東大震災の発生
- D. ホー=チ=ミンによるベトナム青年革命同志会の結成

設問 8 【ア】～【キ】の文章を下記のように左から右に年代順に並べた場合
②, ④, ⑥ に当てはまるものを選び, その記号を解答欄にマ
ークしなさい。



〔IV〕 第一次世界大戦は欧州世界に未曾有の惨禍をもたらしたため、その反省から戦後処理の過程では列強諸国の間で軍縮への動きが強まった。結果的には第二次世界大戦の勃発を抑止できなかったものの、こうした動きが歴史的に重要なものであったことは論を俟たない。すでに講和の基礎としてウィルソン合衆国大統領が提起した十四ヵ条やその結果創設された国際連盟も、軍縮の理念を反映したものであった。

では、第一次世界大戦後、戦勝国(ときには他の国も含め)の間で締結された軍縮や戦争抑止に関する条約のうち、1922年、1928年、1930年には、それぞれどこでどのような内容が議決されたのかを述べなさい。併せて、戦勝国は敗戦国であったドイツに対して、軍縮や国際協調の観点からどのように対応したのか、上記の3条約以外で関連する2つの条約とその内容についても述べなさい。解答は200字以上240字以内で横書きとし、括弧や句読点は1マス1字に数え、また数字を用いる場合には1マス2字とする。